

菊池市地域公共交通計画 中間とりまとめ

令和6年度 第2回 菊池市公共交通会議
2024年11月13日

1 菊池市の人口動向、地域状況

- 市内人口は2,000年前後を境に減少に転じ、年間1,000～2,000人ほどのペースで減少が続いている
- 高齢化率は年々増加しており、令和6年8月末現在で35%（菊池市HP）、2050年には40%を超えると予想されている
- 高齢化は主に郊外部で進んでおり、七城地区や旧菊池市の山間部においては、高齢化率が40%以上のエリアが広く存在する
- 男女ともに60～74歳人口の多さが顕著であるが、2040年にはその人口は大きく減少し、年代間での人口の差は小さくなると推計されている
- 15～29歳については「転出」が「転入」を大きく上回っており、その人口は10代前半や30代と比較し100人程度少ない

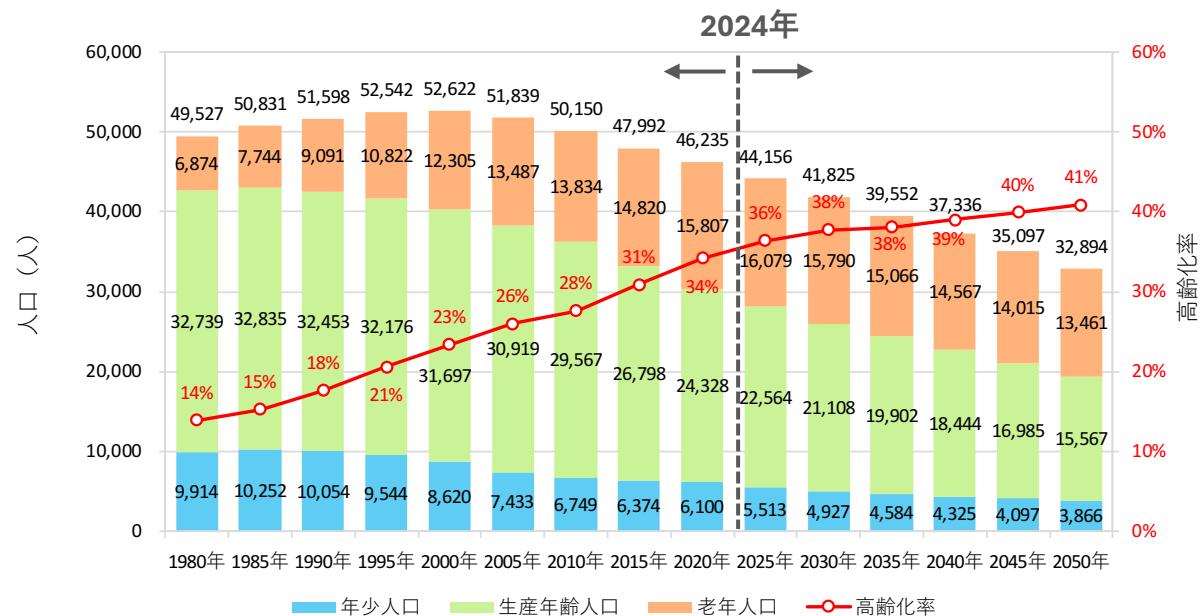


図 人口推移と高齢化率

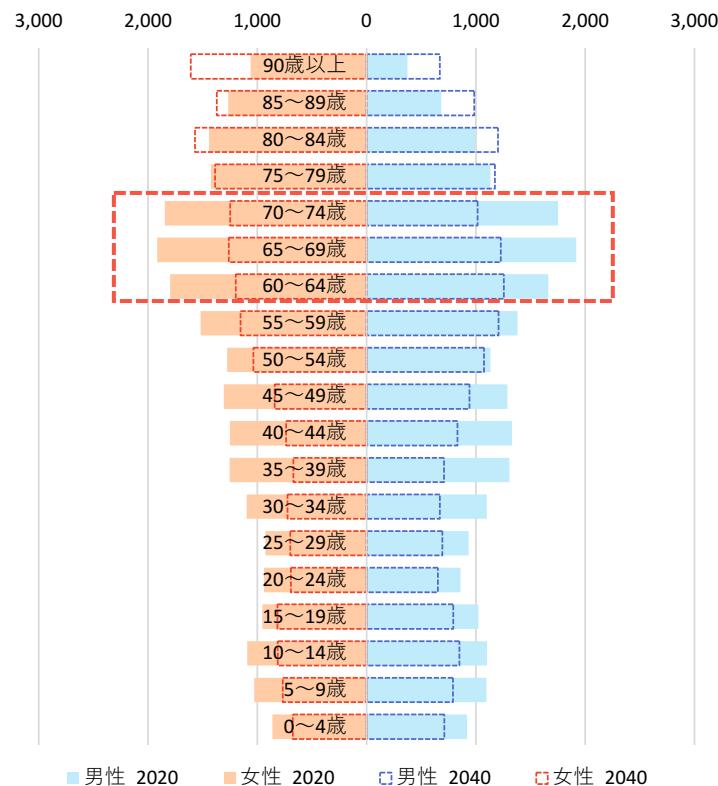


図 人口ピラミッド

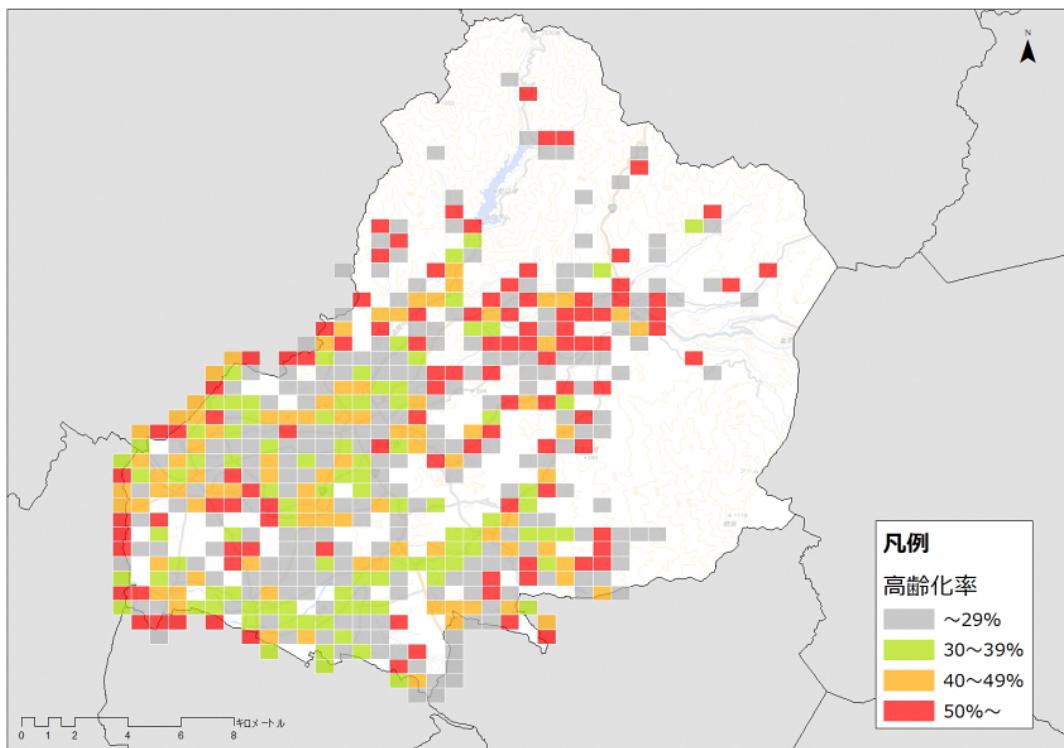


図 高齢化率の分布 (R2年国勢調査)

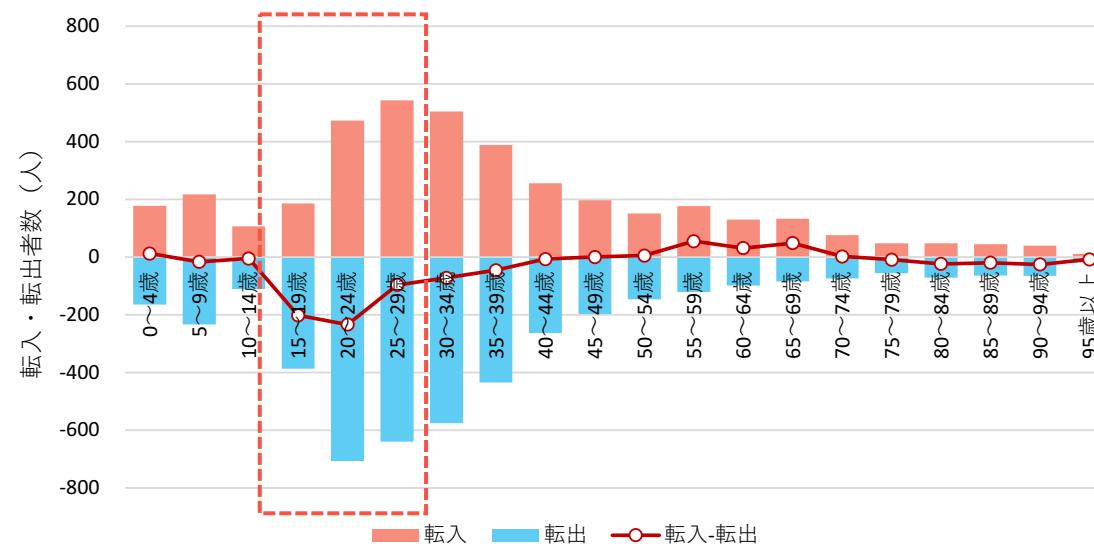


図 年代別の転入・転出人口 (R2年国勢調査)

2 菊池市の地域公共交通の現況

べんりカー利用状況

- 緊急事態宣言時（R1年4～5月）を境に利用が減少したまま横ばいで推移し、令和元年度は1500人/月前後の利用が、令和5年度は1,100人/月前後となっている
- 1便・2便の利用が多いが、年々減少傾向にある
- 3便・4便の利用者は横ばいで、6便の利用者は減少傾向が顕著である
- 火曜日の利用者数が比較的多く、横ばい傾向。一方、月・水・土曜日は減少傾向

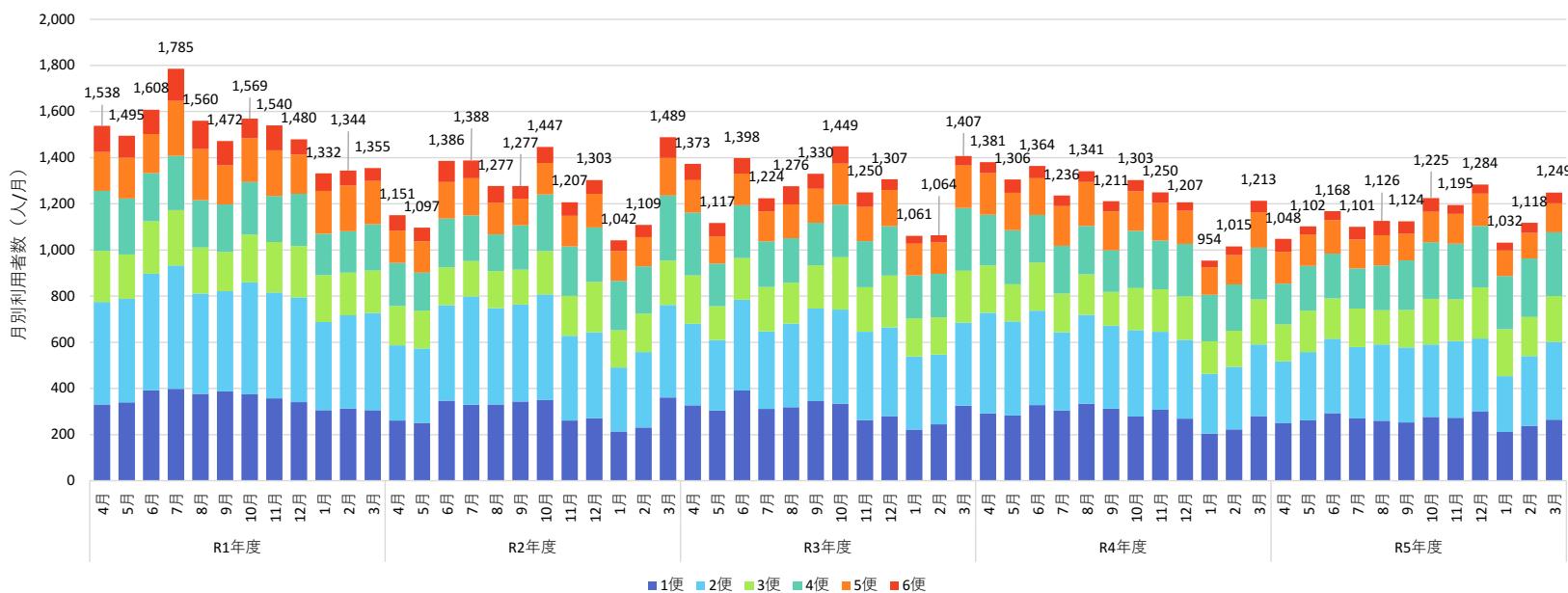


図 月別利用者数推移

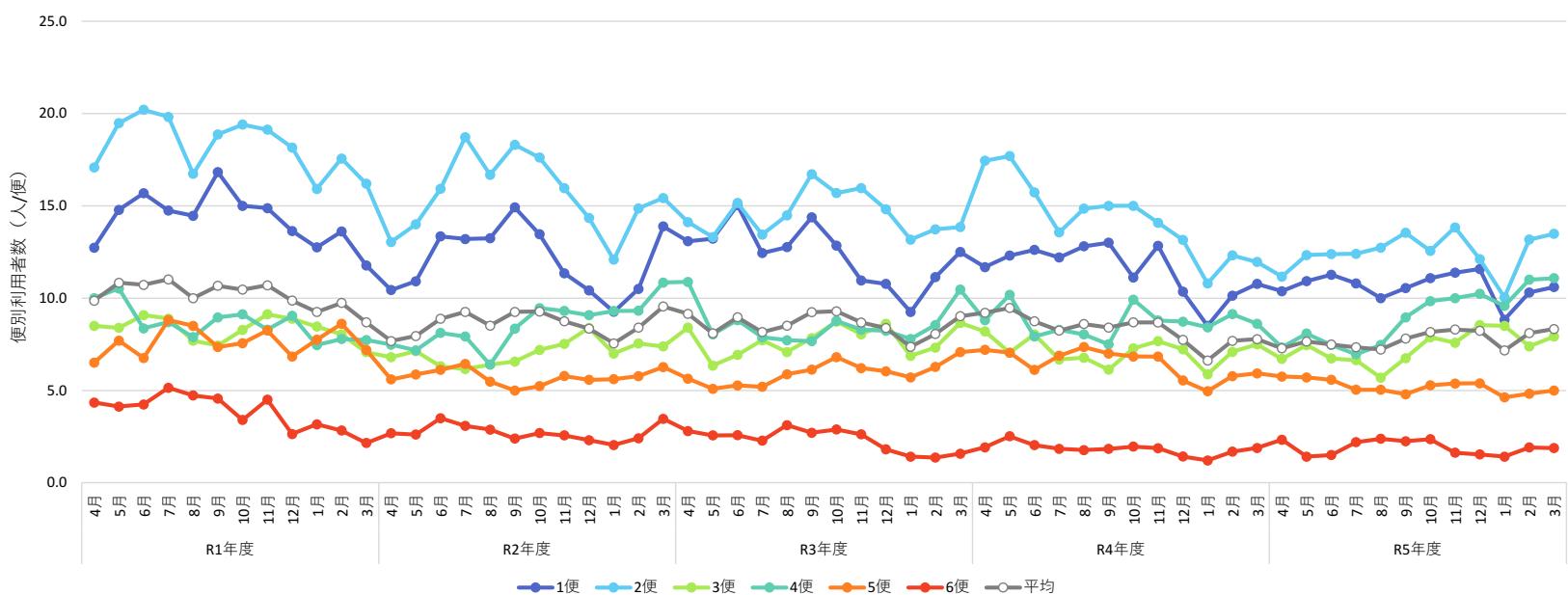


図 1便あたり利用者数推移

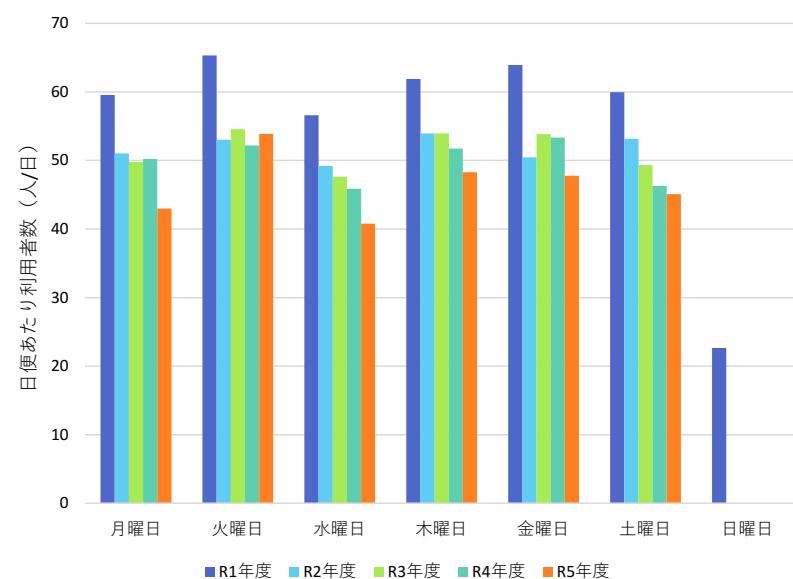


図 曜日別1日当たり利用者数

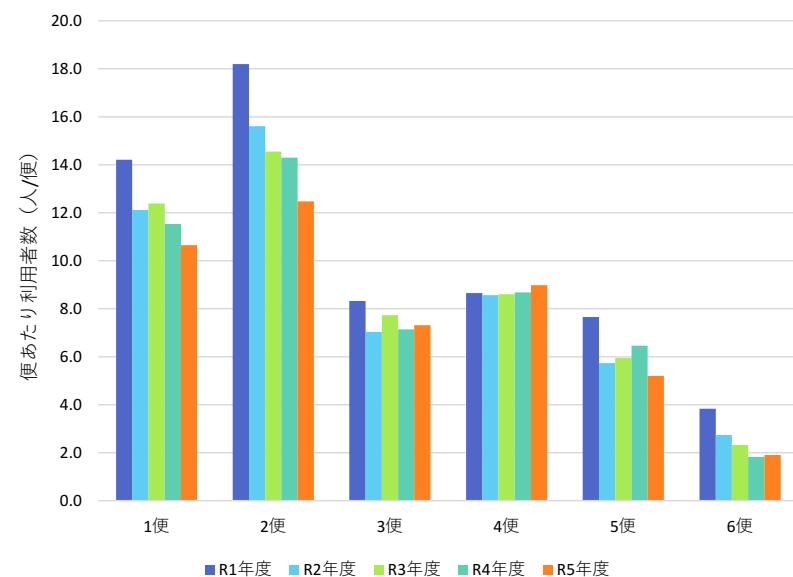


図 便別1便あたり利用者数

2 菊池市の地域公共交通の現況

あいのりタクシー利用状況

- 緊急事態宣言時の減少は大きくないものの、微減傾向が継続し、令和元年度は1,000人/月前後の利用が、令和5年度は700人/月前後となっている
- 水源地区の利用が最も多いが、減少傾向も大きい
- 泗水西部地区は減少傾向、龍門・七城・泗水東部地区は概ね横ばいとなっている
- 観光あいのりの利用者数は多くはないものの、春～秋にかけて一定の利用がある

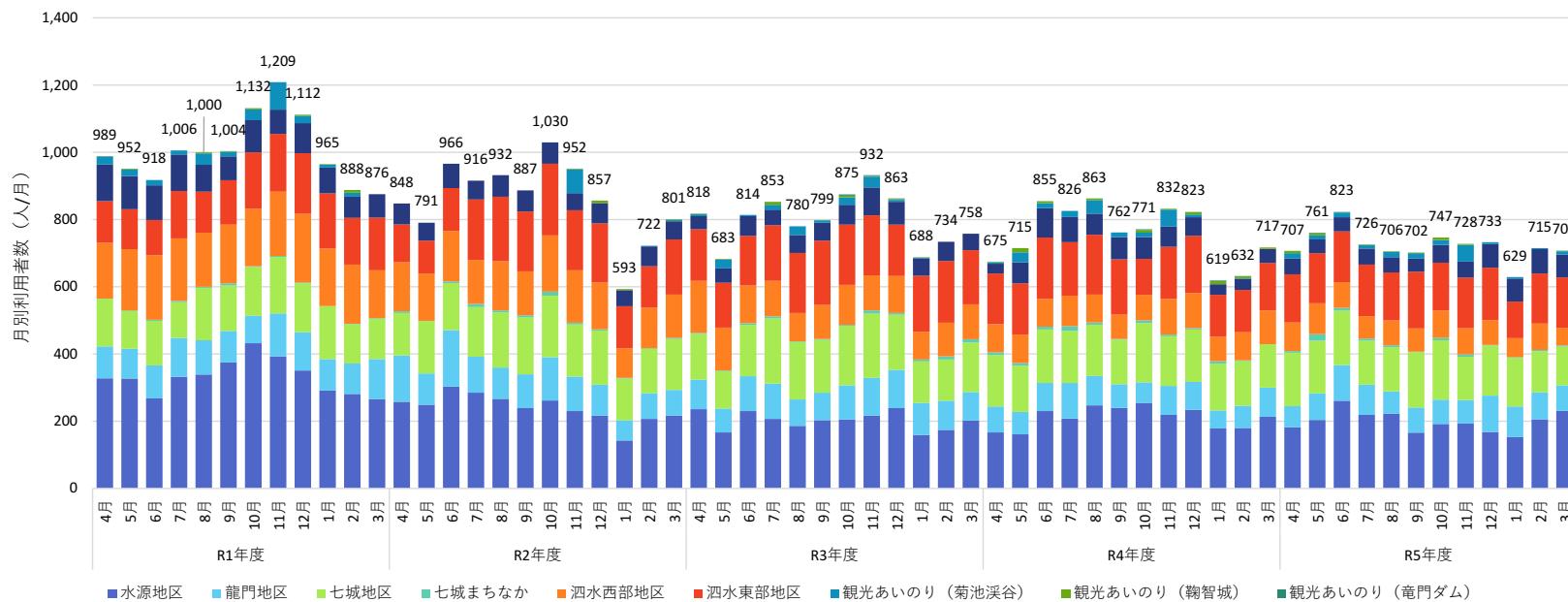


図 月別利用者数推移

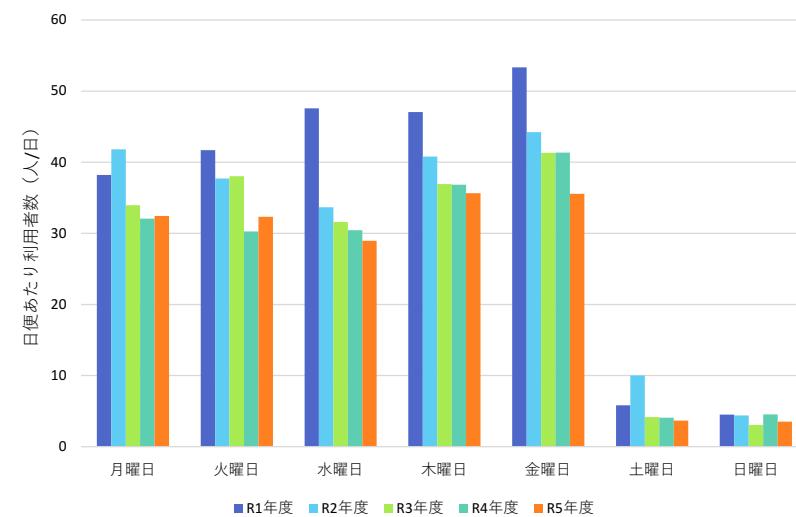


図 曜日別1日当たり利用者数

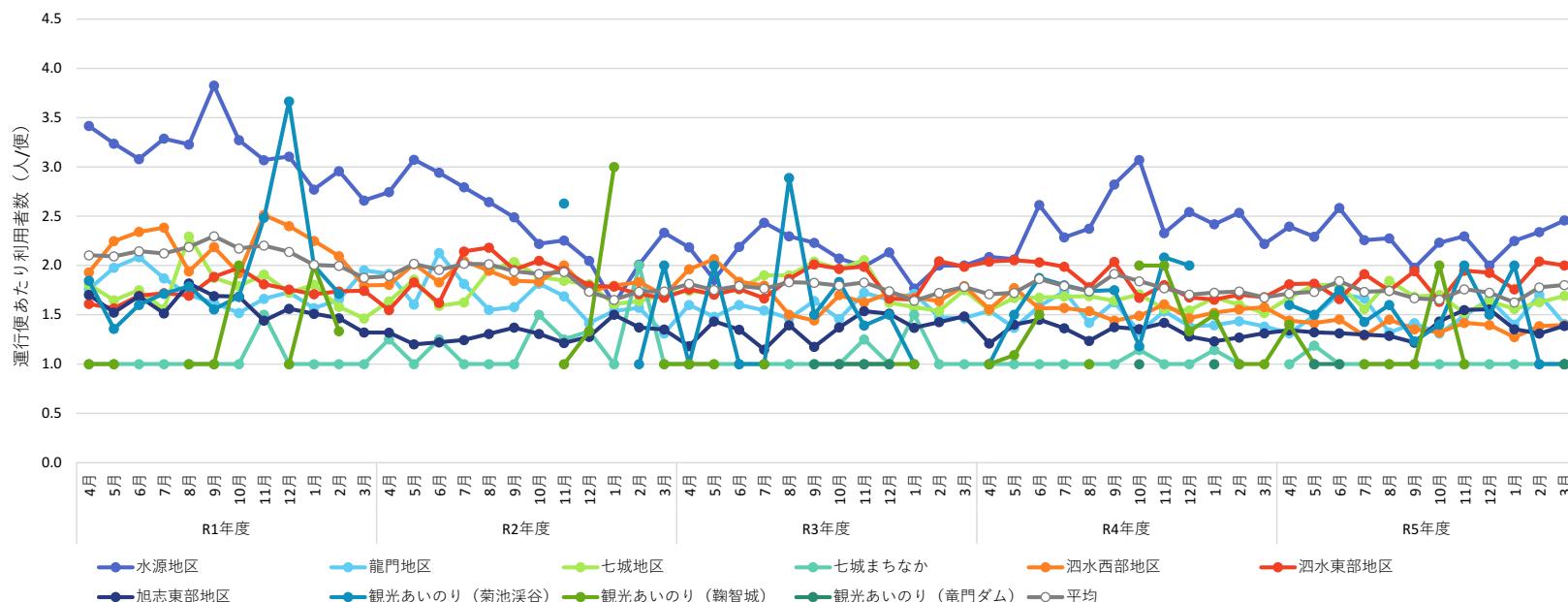


図 路線別運行1便あたり利用者数推移

2 菊池市の地域公共交通の現況

べんりカー調査結果（R6.9.4（水）実施，N=24）

- 65歳以上の高齢者の利用が80%と大半を占める
- 「週5日以上」が17%、「週に3~4日」が25%、「週に1~2日」が13%であり、利用者の約半数は週に1日はきくちべんりカーを利用している
- 移動目的は「買い物」（33%）が最多、次いで「公共施設の利用」（19%）である
- 他の公共交通と乗り換えは1人のみである（買い物利用）

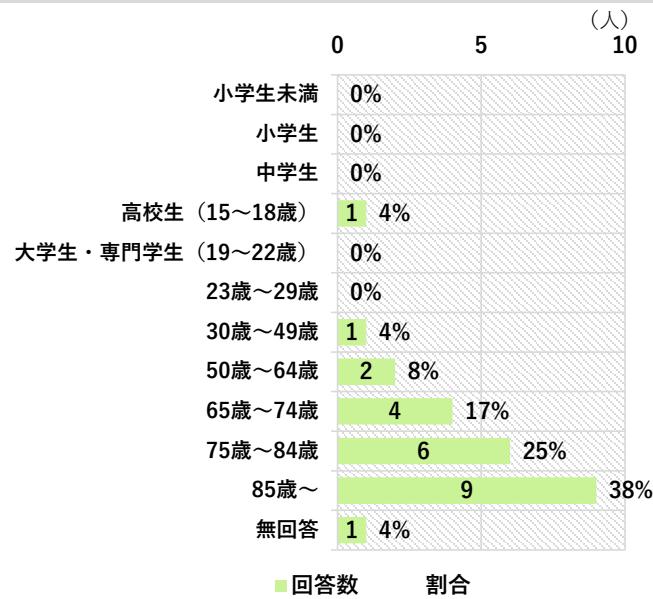


図 年齢

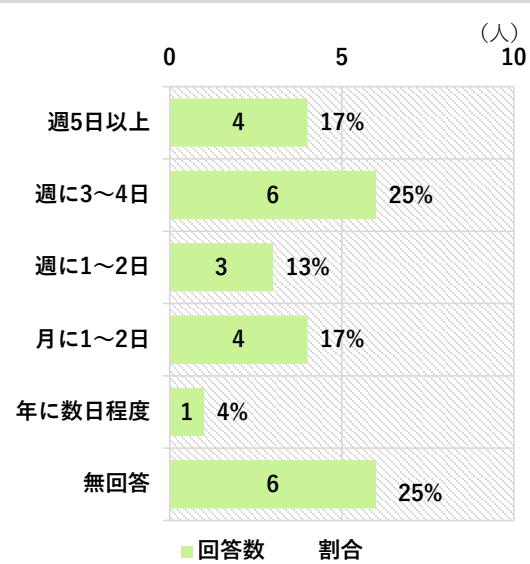


図 利用頻度

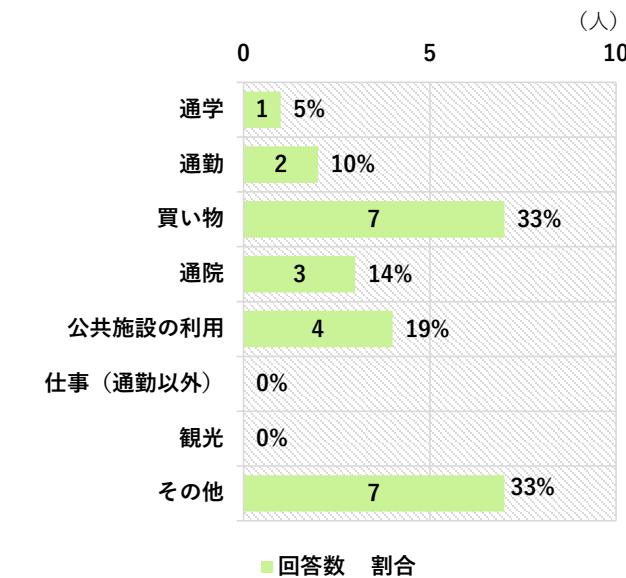


図 利用目的

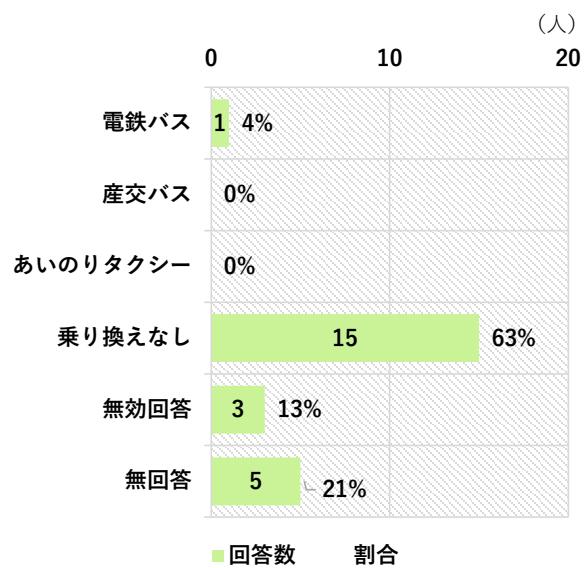


図 乗り換え

あいのりタクシー調査結果（R6.9.23~10.18実施，N=40）

- 「週に1、2日」「月に1、2日」の利用が多く、8割以上の回答を占める
- 「週に3、4日」以上の利用は1割程度にとどまる
- 利用目的は9割が通院で、5割が買い物となっており、複数選択のため、通院・買い物を同じ外出時に行っている人が半数を示す
- 交通事業者ではない方が運転手となる場合、知人でも9割が許容する意向

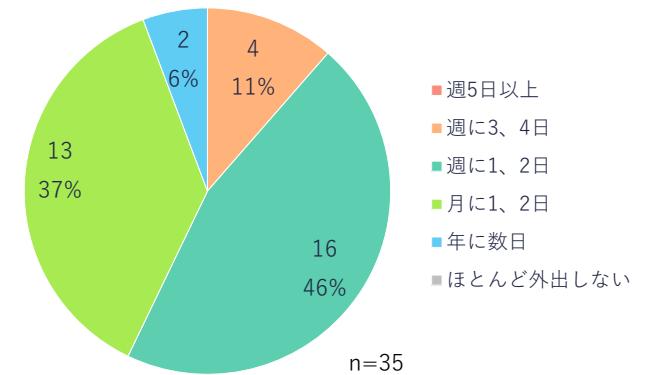


図 あいのりタクシー利用頻度

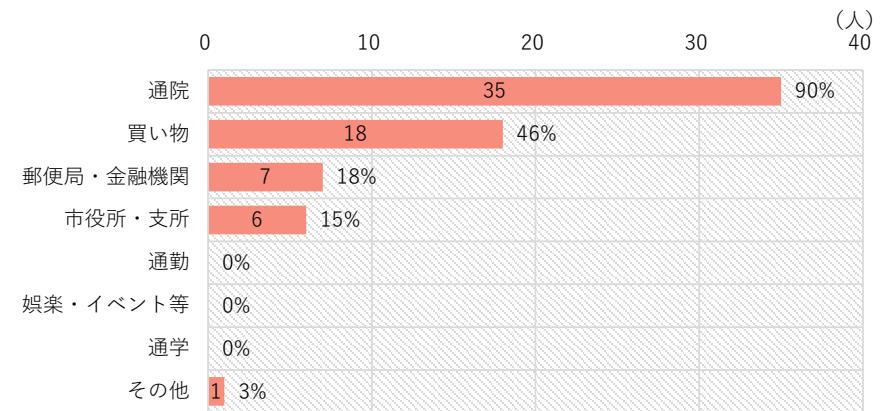


図 あいのりタクシーの利用目的

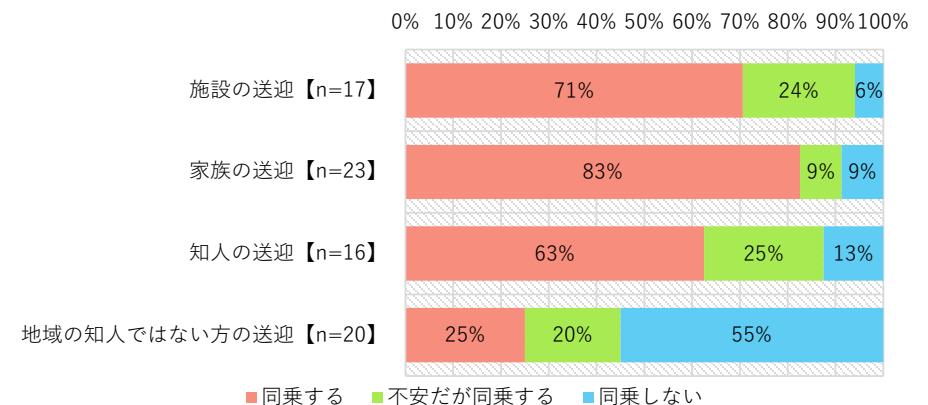


図 運転手が交通事業者ではない場合の許容度

3 上位・関連計画、開発等の動向

- 上位・関連計画では、「企業や行政、地域住民間での連携や広域の都市圏での連携によるまちづくり」や「その体制の構築」に関する項目が多く挙げられている
- 菊池市立地適正化計画では、中心市街地（限府地区）を広域交通結節点としての乗り継ぎ利便性の向上、泗水支所周辺での基幹バスとの乗り継ぎ利便性の向上が挙げられている
- 泗水地域および旭志地域を中心として、工業団地の開発が進み人口増加や通勤時の公共交通利用者の増加が予想される
- 一方で、合志市・熊本市方面に伸びる国道387号線以外の主要道路沿線においては、田園や丘陵が広がっており人口規模は大きくない

上位・関連計画と本事業に反映すべき内容

第3次菊池市総合計画

- 高齢者の免許証自主返納、公共交通利用への転換
- 地域の実状に即した持続可能な交通体系の構築
- 公共交通の利便性向上や運行効率化に向けた新たな交通システムの構築
- 住民相互の支え合いの体制整備
- 地域資源を生かした観光の町

第2期菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略
『癒しの里きくち』
人口ビジョン・総合戦略

- 地域ぐるみで助け合う「共助」の体制づくり
- 学校、地域、企業、金融機関等が連携し一体となった協働体制の構築と地域課題の克服

菊池市都市計画
マスタープラン

- 旧市町村の中心部でコンパクトな市街地形成
- 来訪を便利にする公共交通機関の整備・改善
- 広域圏での連携、地区間での連携、人の連携
- 住民参加によるまちづくり
- 行政・市民・企業等の役割分担、相互の協働によるまちづくり

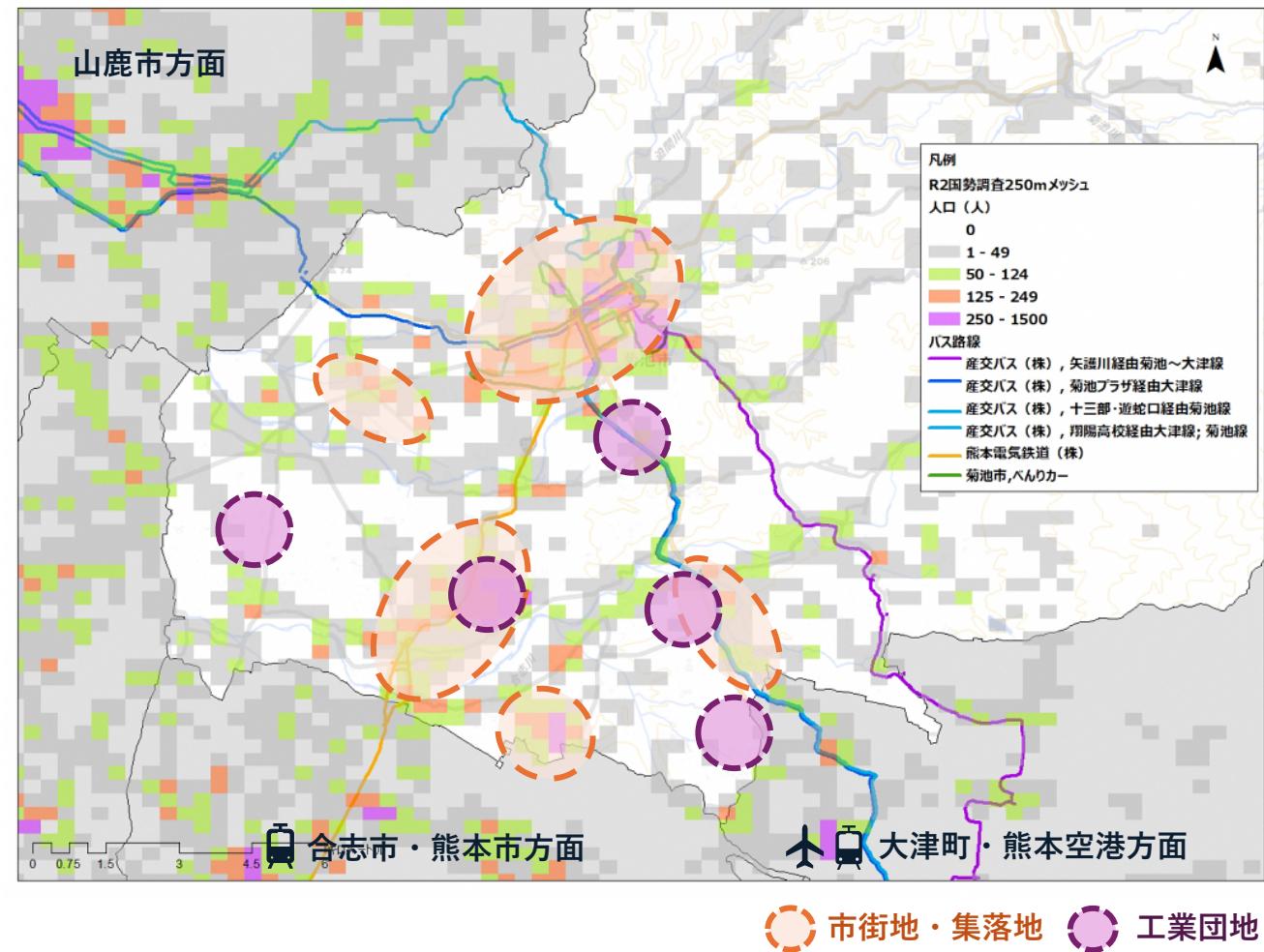
菊池市立地適正化計画

- 広域都市圏での連携、公共交通施設の効率的運営
- 交通弱者への対応のための公共交通の充実
- 乗継利便性の向上（中心市街地、泗水支所周辺）

第2次菊池市環境基本計画

- 交通公害対策の推進（低公害車両の使用）

開発動向と地域間幹線の運行状況



4 地域公共交通に係る問題点・課題の整理

地域公共交通に係る現況

公共交通利用者の減少
財政負担の増加

- 市内の公共交通利用は減少傾向であり、運行維持に係る財政負担が増加している

偏った公共交通利用
ニーズ

- べんりカー、あいのりタクシーの利用区間や便が限定的であり、サービス利用者も固定化

公共交通の認知度不足
利用者不満の存在

- 市内公共交通の認知度不足やサービス内容（区域、バス停までの距離、便数等）に対する不満が存在

運転手不足の深刻化

- バス、タクシー事業とも運転手不足が深刻化し、移動サービスの維持が困難化

潜在的な移動ニーズの
取りこぼし

- 移動ニーズの変化や運転手不足に伴い、公共交通サービスが移動ニーズに対応できていない

住宅地・工業立地の進行

- 工業用地の開発推進に伴い、居住地の開発も進行しており、通勤者等の移動手段確保が重要

まちなか再生の推進

- SDGsまちなかデザイン会議を中心に、温泉街や中心市街地のまちなか再生が推進

観光来訪者の復調

- インバウンド旅行者や国内観光が復調し、菊池市への観光来訪者もコロナ禍より増加

SDGsに向けた社会的
要請

- SDGsに向け、脱炭素化や地域の持続性を高める取り組みを推進する必要性

問題点

①既存公共交通の運行効率の低下

- べんりカー、あいのりタクシーはサービス内容が大きく変化していない一方、利用ニーズが変化したことにより利用者が減少、運行効率が低下している

②運転手不足による供給力低下

- バス、タクシー事業者それぞれで運転手不足が深刻化し、路線廃止・減便や運行時間の短縮等の供給力が低下している
- 将来的にはさらに厳しくなる見通し

③小規模移動ニーズへの対応不足

- 既存公共交通利用者の高齢化や運転免許保有者の増加、アフターコロナでの飲食業の復調の一方、タクシー運転手が減少し、小規模移動ニーズに対応できていない

④まちなか再生・都市整備との連携

- 市内各地で進行する都市整備やまちなか再生に対し、これらの効果を最大限に発揮するための移動環境づくりが必要

⑤観光来訪ニーズへの対応

- 観光来訪ニーズを取り込み、観光産業の活発化を図るため、広域交通拠点との往来や市内の観光周遊ニーズへの対応が必要

課題

①ニーズとシーズを考慮した運行最適化

- 公共交通ニーズと交通資源（シーズ）の動向を踏まえ、時間軸を考慮して市内の公共交通網を総合的に最適化することが必要

②運行の担い手確保

- バス、タクシー事業の運行の担い手確保とともに、コミュニティ交通等の民間移動サービスを補完する新たな運行の担い手を確保する仕組みの構築が必要

③生活を支える公的移動サービスの確保

- 通勤通学、買い物、通院、飲食等の生活移動の様々な移動を支え、地域の活力の維持・向上につながる公的移動サービスの確保が必要

④幹線移動サービスの利便性向上

- 通勤通学手段の確保や観光促進等、周辺地域と連携した移動サービスの維持と利用増加のため、都市整備や観光施策と連携した幹線移動サービスの利便性向上が必要

⑤観光資源と連携した移動サービス展開

- 菊池温泉や市内に点在する観光資源を活かし、観光産業の活発化と地域の持続性向上に向け、観光事業者や観光資源と連携した移動サービスの構築が必要

内部環境

外部環境

5 地域公共交通の目指す将来像・地域公共交通が果たすべき役割（基本的な方針）

菊池市の公共交通確保に向けた基本的な方針

公助と共助により持続的な移動環境をつくり、
人と地域がうるおい・輝くまち、きくち

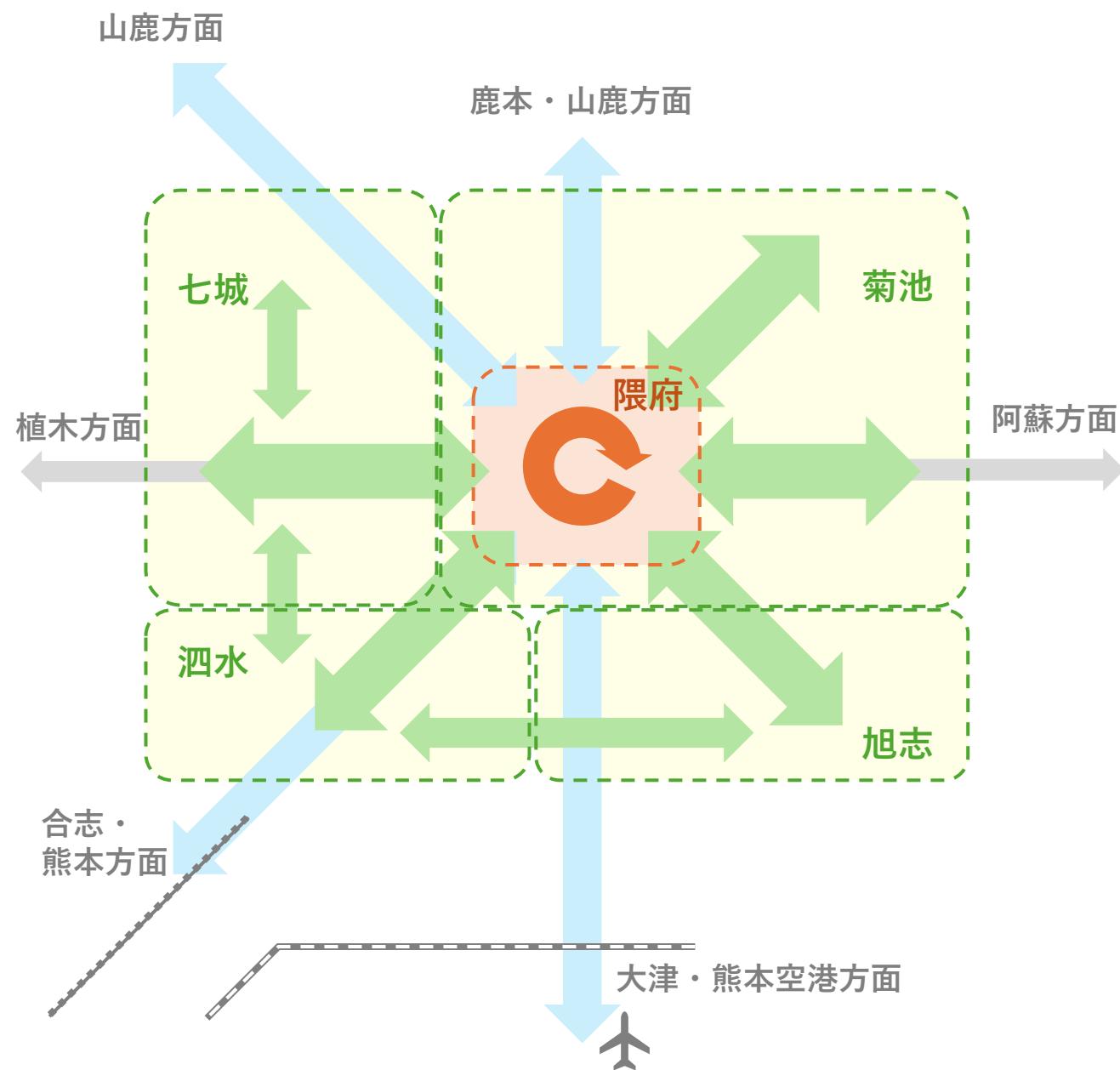
計画の対象区域

菊池市全域

計画期間

2024年4月～
5年間

菊池市の公共交通の将来像



菊池市の地域公共交通が果たす役割（目標）

生活・観光の核として、地域間の幹線的な移動手段を確保する

目標1

- 自然豊かな環境や豊富な観光資源を活かしながら、周辺地域との往来手段を確保することで、すごしやすいまち・訪れたいまちを目指す
- 都市開発や観光流動の動向等を踏まえた幹線軸を確保し、広域的な移動を円滑に支える
- 自動運転等の先進技術を活用しながら、幹線軸の利便性向上と持続性向上の両立を図る

すこやかな生活を送れるまちに向け、地域内の移動を柔軟に支える

目標2

- 小規模かつ多様な居住者の移動ニーズに対応し、健康に住み続けることができるまちを目指す
- 地域と交通事業者との連携により新たな交通体系の構築を図り、持続的な公共交通サービスの運営を目指す
- 観光事業者との連携して市内の観光周遊時の移動サービスを提供し、地域産業の活性化を図る

元気で魅力のあるまちを目指し、市街地の円滑な移動を促進する

目標3

- 市街地を周遊する路線バスの利便性向上や、パーソナルモビリティの充実を図り、市街地の円滑な移動を促進することで、中心市街地の魅力向上・活性化を図る
- まちづくり施策と連携した交通施策の展開によって、ウォークアブルな市街地づくりを推進する

5

地域公共交通の目指す将来像・地域公共交通が果たすべき役割（基本的な方針）

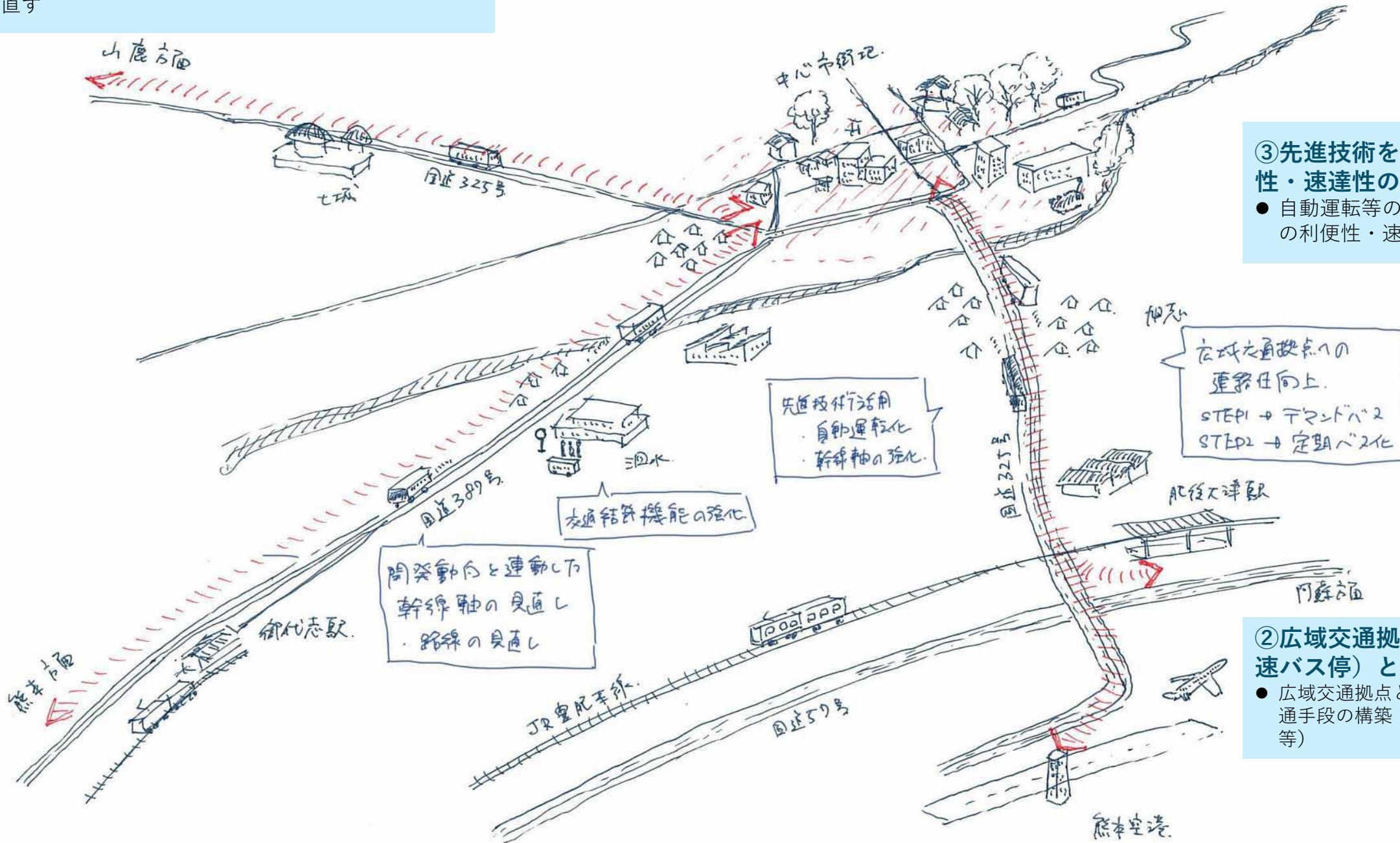
目標1

生活・観光の核として、地域間の幹線的な移動手段を確保する

- 自然豊かな環境や豊富な観光資源を活かしながら、周辺地域との往来手段を確保することで、すごしやすいまち・訪れたいまちを目指す
- 都市開発や観光流動の動向等を踏まえた幹線軸を確保し、広域的な移動を円滑に支える
- 自動運転等の先進技術を活用しながら、幹線軸の利便性向上と持続性向上の両立を図る

①開発動向等と連動した地域間幹線軸の運行路線の見直し

- 開発動向を踏まえて、路線バスの路線やダイヤを見直す



③先進技術を活用した幹線軸の利便性・速達性の向上

- 自動運転等の先進技術を活用し、幹線軸の利便性・速達性の向上を図る

②広域交通拠点（空港、鉄道駅、高速バス停）との連絡性の向上

- 広域交通拠点と菊池市とを連絡する公共交通手段の構築（デマンドバス、路線バス等）

5

地域公共交通の目指す将来像・地域公共交通が果たすべき役割（基本的な方針）

目標2

すこやかな生活を送れるまちに向け、地域内の移動を柔軟に支える

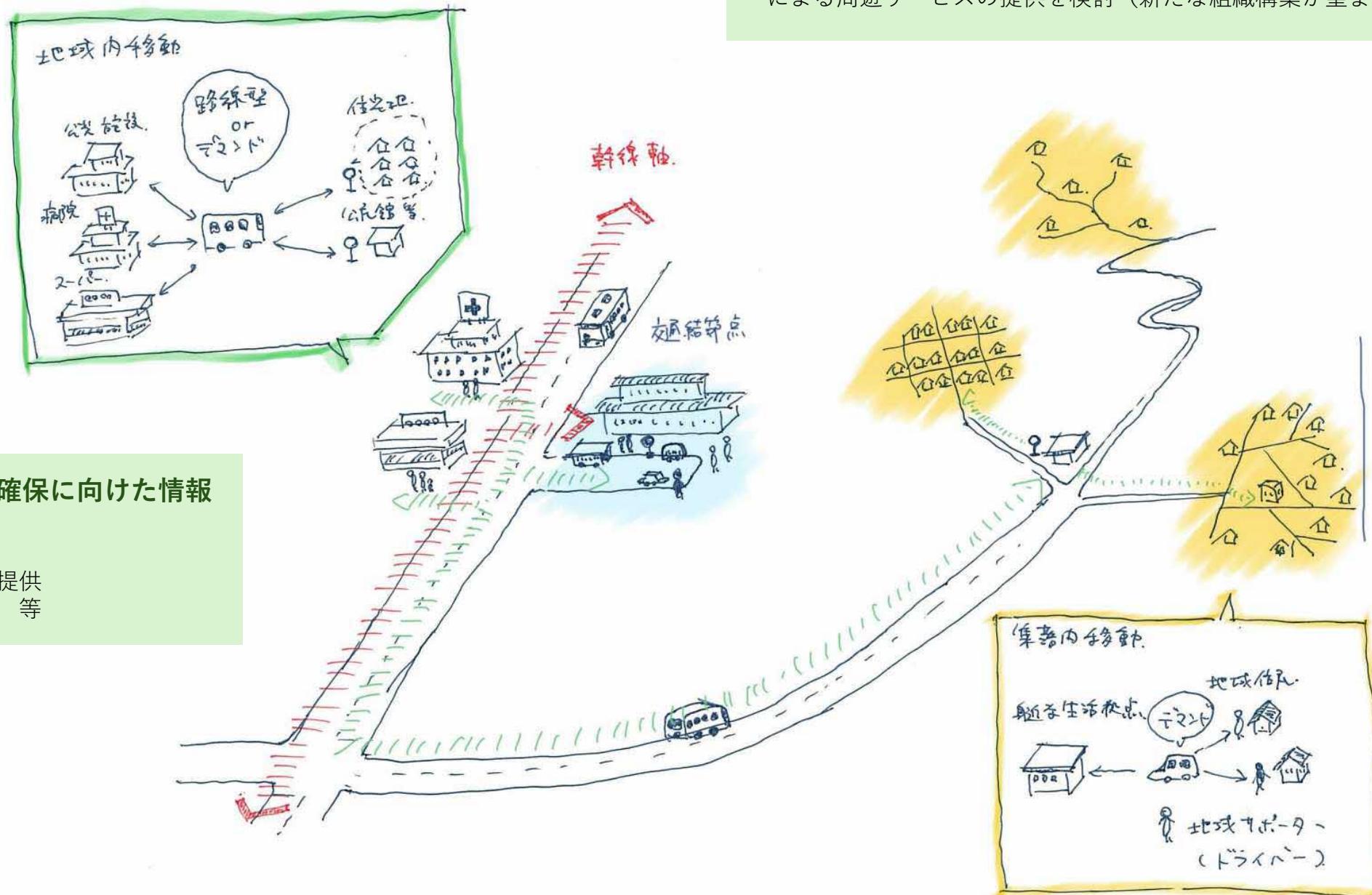
- 小規模かつ多様な居住者の移動ニーズに対応し、健康に住み続けることができるまちを目指す
- 地域と交通事業者との連携により新たな交通体系の構築を図り、持続的な公共交通サービスの運営を目指す
- 観光事業者と連携して市内の観光周遊時の移動サービスを提供し、地域産業の活性化を図る

①先進技術を活用した地域内交通の利便性・運行効率性の向上

- IT技術を活用したデマンド交通システムの導入や、利用実績に基づく地域内路線（あいのりタクシー）の運行方法の見直し
- 利用者が固定的な地域は、路線バス型の運行への変更を検討

②地域住民・事業者と交通事業者の連携による新たな交通体系の構築

- 地域住民や地域の事業者、交通事業者との協働による、地域協力型の新たな交通体系を構築
- 集落内交通では、地域コミュニティと連携し、互助の輸送手段を模索
- 観光周遊交通では、観光あいのりタクシーの運行拡大や、観光事業者との連携による周遊サービスの提供を検討（新たな組織構築が望ましい）



③運行の担い手・利用者確保に向けた情報発信・広報

- 利用体験会の開催
- 運転手確保に向けた情報提供
- 公共交通利用案内の実施 等

6 目標を達成するために実施する事業（素案）

菊池市の地域公共交通が果たす役割
(目標)

目標を達成するために実施する事業

		実施事業	実施内容	実施主体
目標1	地域間の幹線的な移動手段を確保し、生活・観光の核となるまち	開発動向等と連動した地域間幹線軸の運行路線の見直し	工業団地の立地推進や宅地整備、市内各拠点の整備等と連動し、地域間幹線軸を運行する路線バスの運行路線や運行方法の見直しを行う。	菊池市 路線バス事業者
		広域交通拠点（空港、鉄道駅、高速バス停）との連絡性の向上	広域交通拠点と菊池市との連絡性を向上するため、周辺市町と連携した移動サービスの導入や改善を行う。	菊池市 周辺市町 路線バス事業者
		先進技術を活用した幹線軸の利便性・速達性の向上	自動運転等の先進技術を活用し、熊本方面や大津方面等の大量輸送が求められる幹線軸の利便性と速達性の向上を図る。	菊池市 (路線バス事業者)
目標2	地域内の移動を柔軟に支え、すこやかな生活を送れるまち	先進技術を活用した地域内交通の利便性・運行効率性の向上	IT技術を活用したデマンド交通システムの導入や、利用実績に基づく地域内路線（あいのりタクシー）の運行方法を見直す。利用者が固定的な地域は、路線バス型の運行への変更を検討する。	菊池市 タクシー事業者 (路線バス事業者)
		地域住民・事業者と交通事業者の連携による新たな交通体系の構築	地域住民や地域の事業者、交通事業者との協働による、地域協力型の新たな交通体系を構築し、地域内の移動サービスの運行を図る。	菊池市、菊池市社会福祉協議会 菊池観光協会、観光事業者 タクシー事業者
		運行の担い手・利用者確保に向けた情報発信・広報	路線バス、タクシーの運行の担い手確保に向けた市のWEBサイト等での広報や、新たな利用者の確保に向けた利用体験会の実施や情報発信を行う。	菊池市、路線バス事業者、タクシー事業者
目標3	市街地の円滑な移動を促進し、元気で魅力のあるまち	まちづくりと連携した市街地バス路線の見直し	まちづくり方針と連携して、べんりカーや路線バスの運行路線を見直し、市街地の活性化およびバス路線網の分かりやすさの向上を図る。	菊池市 路線バス事業者
		交通結節機能の強化・待合環境の改善	中心市街地（隈府）および泗水支所周辺等においてトランジットモール化や交通結節点の整備とともに、主要バス停における待合環境の改善を図る。	菊池市 (生活利便施設所有者)
		公共交通を補完するシェアリングサービスの導入	公共交通を補完する移動サービスとして、パーソナルモビリティのシェアリングサービスの導入を推進する。	菊池市